本会議での討論

木幡　裕之 議員（創生）

原案に賛成

賛成の立場で討論を行う。

帯広市は、施設老朽化、少子高齢化、物価高や人手不足、インフラ整備など懸念材料が山積している状況。これらを踏まえ、除雪運行管理システムを活用した除雪のあり方の検討、高校生年代の医療費助成の考え方、冬期間のにぎわい創出に向けて、国内最大級の氷彫刻を展示することにより、夜間イベントなどを充実させる考え、基金を効果的に運用する考えなどについて質疑があった。

大林　愛慶 議員（立憲）

原案に賛成

子ども医療費助成制度の拡充、南商業高校のエアコン設置、児童会館・百年記念館の現況調査など、今、すすめなくてはならない。

「宿泊税を活用」する事業では、観光関連団体などとの協議のあり方、プロセスが不十分であった。協議会などを設置し、施策の計画・提案・実施・効果検証に至るプロセスを協議し、観光関連団体や宿泊客、市民が理解・納得できる観光振興策となるよう、透明性を確保しすすめていくことを強く要望する。

椎名　成 議員（公明）

原案に賛成

補正予算などの議案に対して賛成の立場で討論に参加する。市と議会はワンチームでやっていかなくてはならない。ワンチームというのは、まして仲よしグループであるはずもなく、互いの違いを認め、それぞれが市民のために不可欠な役割を担うことで最大のパフォーマンスを発揮する概念である。市と議会が是々非々で議論を深め、選ばれる街・帯広をめざし、市の発展に力を尽くしていくことを誓い合いたい。

大塚　徹 議員（市政）

原案に賛成

議論がまとまらない宿泊税使途において補正予算に6,000万円近くの一般財源が投入される。また、その使途に関し、一部観光関連団体から意見書が提出されるなど、議会のチェック機能を最大限に発揮するには、宿泊税の使途に一層慎重な審議が必要。行政国家百年の計とは、未来だけではなく、すべての世代を真ん中に行政は考えなければいけないという戒め。これらを強く指摘し令和８年度一般会計補正予算案外に賛成の討論とする。

杉野　智美 議員（共産）

原案に賛成

物価高騰やイラン攻撃の影響を受け市民や中小企業から深刻な声があがっている。苦難に直面する市民の願いに応える緊急対策を求める。誰もが希望を持って暮らし続けられるまちづくりのために、地域産業の農業と中小企業の経営を支える仕組みが地域循環型経済。その土台となる賃金引き上げ、男女がともに力を発揮できる働き方で、人口減少社会にも歯止めをかけ、新たな財源を生み出すことになる。以上、賛成の討論とする。

三浦　勇利 議員（市民）

原案に賛成

補正予算については、公約実現に向けた、いわゆる政策予算であると理解する。（仮称）若者議会の設置検討、子ども医療費助成制度の高校生年代までの拡充に向けた準備、除雪運行管理システムの試験導入、児童会館および百年記念館の今後の施設のあり方を検討するための施設の現況調査など、市長が掲げる「選ばれるまち・帯広」の実現のために、限られた財源の中で必要な施策を着実にすすめるものと評価をし、賛成するもの。

議決事件に附帯決議※

議案第52号「令和８年度帯広市一般会計補正予算（第３号）」に対して、以下のとおり決議が提出され、全会一致で可決しました。

全文はこちら

決議（要旨）

・宿泊税の活用にあたっては、宿泊事業者をはじめ、観光・商工・交通・飲食など関係事業者と十分な連携を図り、事前の検討から効果の検証・見直し・改善等について、関係事業者との協議や議会議論を深めながらすすめること。

・予算提案においては、広く関係者の意見を聞き十分な根拠を持って提案し、議会がチェック機能を果たすことができるよう十分配慮すること。

会議を傍聴してみませんか

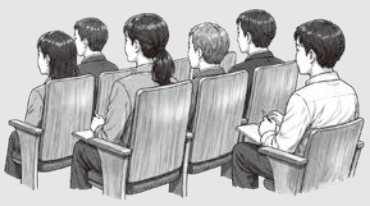
市議会の会議は会場で傍聴いただけるほか、市議会ホームページで生放映と録画放映をご覧いただけます。

なお、会場での傍聴は事前の申込みは不要です。

９月定例会の開催予定日は８Ｐをご覧ください。

市議会ホームページ

インターネット映像配信



意見書

全会一致で可決し、国会や関係行政省庁へ意見書を提出しました。

全文はこちら

○森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について
○地方財政の充実・強化に関する意見書について
○令和８年度北海道最低賃金の改正に関する意見書について
○義務教育費国庫負担制度堅持、少人数学級の実現など教育予算確保・拡充と就学保障の充実に向けた意見書について
○「これからの高校づくりに関する指針(改定版)」を見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書について
○医療・介護分野に対する大規模かつ抜本的な財源確保を求める意見書について

5月臨時会

令和８年５月15日に臨時会が開かれました。

「令和８年度帯広市一般会計補正予算」や「令和８年度帯広市下水道事業会計補正予算」などが審議され、議案はすべて、原案のとおり可決されました。

また、帯広市長選挙で当選した上野庸介市長、帯広市議会議員補欠選挙で当選した清水達朗議員の挨拶が行われたほか、同議員が厚生委員会委員に選任されました。

新議員自己紹介
新市長挨拶はこちら

※ **附帯決議**：議会の審議対象である事件の議決にあたって、その事件について付随的に付けられる意見または要望の決議のこと。